

多発性骨髄腫 VPd療法（9クール～）

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
\$HEIGHT01_Do	\$WEIGHT01_Do	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース: 21日間

使用薬剤: ボルテゾミブ: ボルテゾミブ 3mg/V
 ポマリドミド: ポマリドミド カプセル4mg, 3mg, 2mg, 1mg
 デキサメタゾン (DEX): レナデックス錠4mg

注意: 適正使用ガイドに準じる

- ※ 末梢神経障害、間質性肺炎の定期的チェック。
- ※ 発症時は用法用量に従い減量～中止。
- ※ 催奇形性を有する可能性があることから、妊娠する可能性のある女性患者にポマリドミドを投与する場合は、ポマリドミド投与開始4週間前及び本剤投与開始3日前から投与開始直前までに妊娠検査を実施し、妊娠していないことを確認後に投与を開始すること。また、ポマリドミドの治療中は4週間を超えない間隔で、ポマリドミドの投与終了の際はポマリドミド投与終了時及び投与終了4週間後に妊娠検査を実施すること。
- ※ ポマリドミド投与開始から投与中止4週間後まで、献血、精子・精液の提供をさせないこと。□
- ※ 深部静脈血栓症又は肺塞栓症があらわれることがあるので、患者個人のリスクにあわせて必要であれば抗凝固療法、検査等を行うこと。
- ※ デキサメタゾン内服は、76歳以上の患者では10mgへ減量を考慮。75歳以下でも合併症や全身状態により、減量を考慮すること。

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ²	#VALUE!		1, 8
ポマリドミド	4mg			1~14
レナデックス錠	20mg			1, 2, 8, 9

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1, 8	1月1日 (土)	1月8日 (土)		
0:00	① 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg 15分で点滴静注			
0:15	② 生理食塩液 50mL + ボルテゾミブ 0.0mg ※調製時は、生理食塩液20mLを抜き。全量を30mLとする。 全開(3~4分)で点滴静注			
0:30	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ			
Day1~14;	1月1日 (土)	~	1月14日 (金)	
内服	ポマリドミド Cap		0 mg	
Day1, 2, 8, 9;	1月1日 (土)	1月2日 (日)	1月8日 (土)	1月9日 (日)
内服	レナデックス錠 4mg		0 錠	

REFERENCE

Paul G Richardson, Albert Oriol, Meral Beksac, et al: Lancet Oncol 2019; doi.org/10.1016/S1470-2045(19)30152-4
 Pomalidomide, bortezomib and dexamethasone for patients with relapsed or refractory multiple myeloma previously treated with lenalidomide (OPTIMISM): a randomised, open-label, phase 3 trial.
 2019年12月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2019年12月9日